



講演者紹介

著者名	白戸 泉
雑誌名	東京女子医科大学女性医師・研究者支援センター女性医師支援シンポジウム抄録集
巻	平成26年度
ページ	12-12
発行年	2014-05-24
URL	http://doi.org/10.20780/00031957

講演者紹介

白戸 泉

東京女子医科大学

八千代医療センター消化器内科 助教

略歴

2000 年 川崎医科大学 卒業

東京女子医科大学 消化器病センター 内科入局 臨床研修医

2002 年 谷津保健病院 消化器内科 出向

2003 年 国立病院機構 高崎病院 消化器科 出向

2004 年 東京女子医科大学 消化器病センター 帰局

日本内科学会 認定内科医

2006 年 東京女子医科大学 八千代医療センター 消化器内科 助教

日本消化器内視鏡学会 専門医

2007 年 日本消化器病学会 専門医

2009 年 博士（医学）学位取得（本学）

2010 年 日本消化器内視鏡学会 指導医

今回のシンポジウムは夫婦で呼ばれました。女前なロールモデルというのは妻に任せて、私は男性から見た出産・子育てと仕事について考えてみます。

まず両立するにあたって必要なことは上司の理解ではないでしょうか。やらなければならない仕事をきちんとかなすことが前提ですが、その中である程度は自分で時間のマネージメントをすることを許して頂いています。現在、日中はほとんど息つく間もなく仕事をしています。それは、17時半には仕事を切り上げて、保育園に子供達を迎えに行くからです。仕事の終了時間が決まっているのは非常にストレスですし、周りからの視線が気にならない事もないです。しかし、家に帰ってから子供三人を寝かしつけるまでには日中と同程度のエネルギーを使うことを考えると、仕事と家庭の時間をはっきり分けることは重要であり、このライフワークバランスはとても大切だと思っています。

子供が出来て、仕事の内容にも影響がありました。子供を持つ親の世代（要は自分と同世代）やそれより若年層の気持ちがとてもよく分かるようになりました。その結果、この世代に多い炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病など）に興味を持つようになり、その患者さん方から、病気だけでなく出産、子育ても含めた相談を受けるようになりました。子供好き＝小児科医の仕事？と思っていましたが、その親に関心を持つ、といった予想外の進展があり、自分自身に驚いています。

子育ては仕事の時間がなくなる、とマイナスに考えがちですが、それが他に生かせる事はないか、と考えられたら良いですね。私はもともと子供好きでもなんでもなかったのに、気が付いたら三姉妹の親になっており、今では何よりも子供達が大切です。毎日が楽しくて仕方ありません。男性も子育てにかかわらなければもったいない。人生において、子育ての時期はそんなに長い時間ではないです。みなさん、一緒に楽しみましょう！